

地域観光の推進について

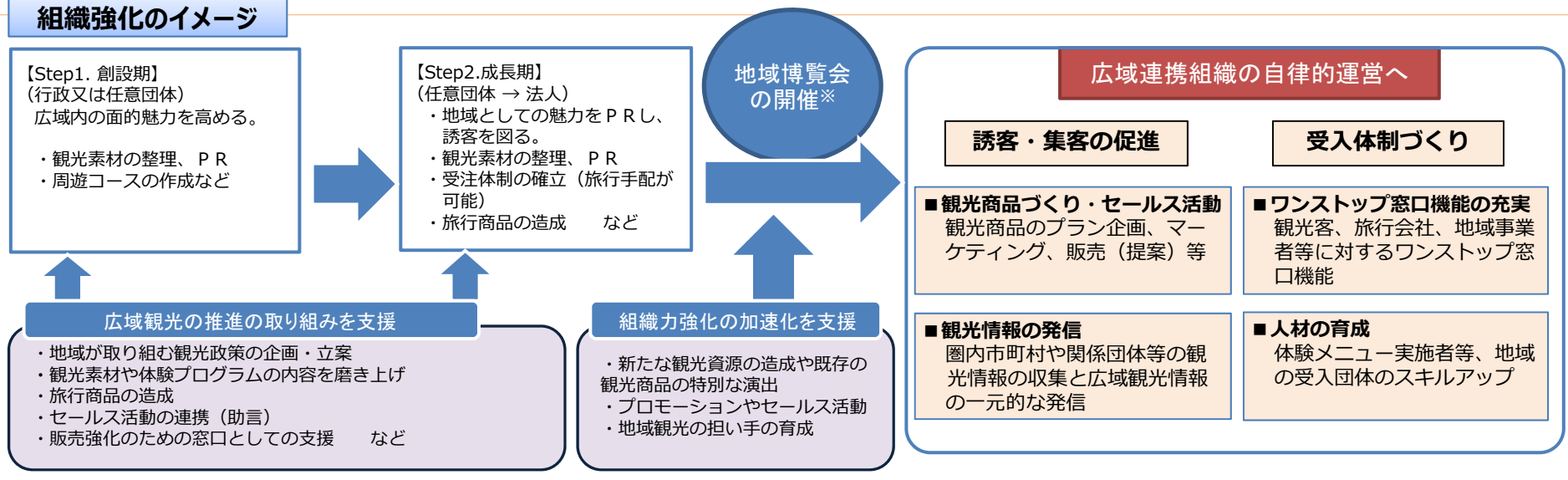
広域観光の推進（広域観光推進事業費補助金）

目的

地域自らが観光資源を磨き上げ、1泊以上滞在することができる観光地づくりを推進するため、**誘客・集客の促進**や**受入体制づくり**などに取り組む地域の各広域観光組織を支援し、地域の面的魅力を高めるための地域コーディネート機能の強化を図る。加えて**地域が主体的に取り組む博覧会を支援**することで、広域観光組織が自立的に活動することができるよう取り組みの加速化を図る。

※地域博覧会とは
 広域観光の推進を目的とした地域が主体となって計画、実施する新たな催し
 ・開催期間：原則6ヶ月以上
 ・開催エリア：産振計画で定める広域ブロック以上の地域

組織強化のイメージ



制度の概要

- 広域観光推進事業【既存：観光拠点等整備事業費補助金から組替】
 目的：地域自らが観光資源を磨き上げ、1泊以上滞在することができる観光地づくりを推進する。
 対象事業：情報発信やセールス活動等、広域的な観光振興に資する取組
 補助先：広域観光協議会等
 補助率：1/2以内（2,000千円以内）
- 地域博覧会開催支援事業【新規】
 目的：地域博覧会の開催による地域への誘客促進、観光地としての認知度の向上や観光地としての受入体制の整備、さらに広域組織のコーディネート機能の強化を推進する。
 対象事業：博覧会実施及び開催準備に係る経費（人件費は除く）
 補助先：広域観光協議会もしくは広域観光協議会が中心となって構成された団体
 補助率：1/2以内（10,000万円以内）

<その他の支援メニュー>

- 観光アドバイザーによる支援（4,806千円）
 地域のニーズや課題に応じて、広域組織に求められる機能を果たしていくために、具体的なアドバイスや実践支援（セールス等）
 - 観光人材育成塾「とさ旅セミナー ステップアップ研修」実施（16,534千円）
 地域の事業者と連携し、観光商品づくりやセールスなどの実践を通じて広域組織の取組を担う地域観光の核となるリーダーの育成
- 観光コンベンション協会による支援
 モニターツアーや着地型商品づくり等の支援

平成25年度とさ旅セミナーと広域観光の推進

※プログラムの詳細は検討中

